

実施報告書

mirai@
city.fukuoka

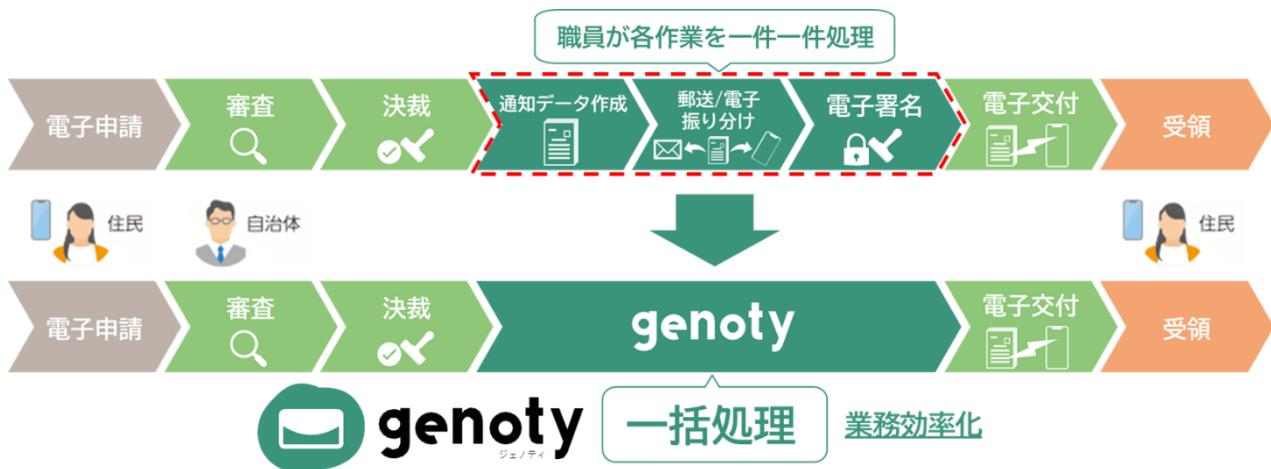
■プロジェクト名

結果通知のデジタル化における業務効率化にかかる実証事業

■事業者名

富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社

■実証イメージ



■実証実験の概要

○解決したい社会課題(背景・目的など)

福岡市における、行政手続きのオンライン化率は 94.4%(令和 6 年度末時点)に達しており、多くの手続きが窓口に出向くことなく申請可能となっている。

一方で、申請はオンラインで完結できるものの、結果通知については依然として郵送による交付が多く、交付用データの作成、電子署名、電子交付といった一連の作業については、職員の作業量が多いという課題が残っている。

○実証実験の内容

- ・実証実験期間:令和7年4月1日から9月 30 日
- ・福岡市で既に通知のデジタル化を行っている手続きについて、共働事業者が提供するソリューション『genoty(ジエノティ)』を活用して模擬作業を実施し、業務の削減効果等を検証した。

【対象となる通知】

- ・防火管理講習等終了証 他

■実証実験の結果

- ・通知書のファイル分割、ファイル名の一括変更、電子署名などの模擬作業を実施し、業務の削減効果と正確性の検証を行った。

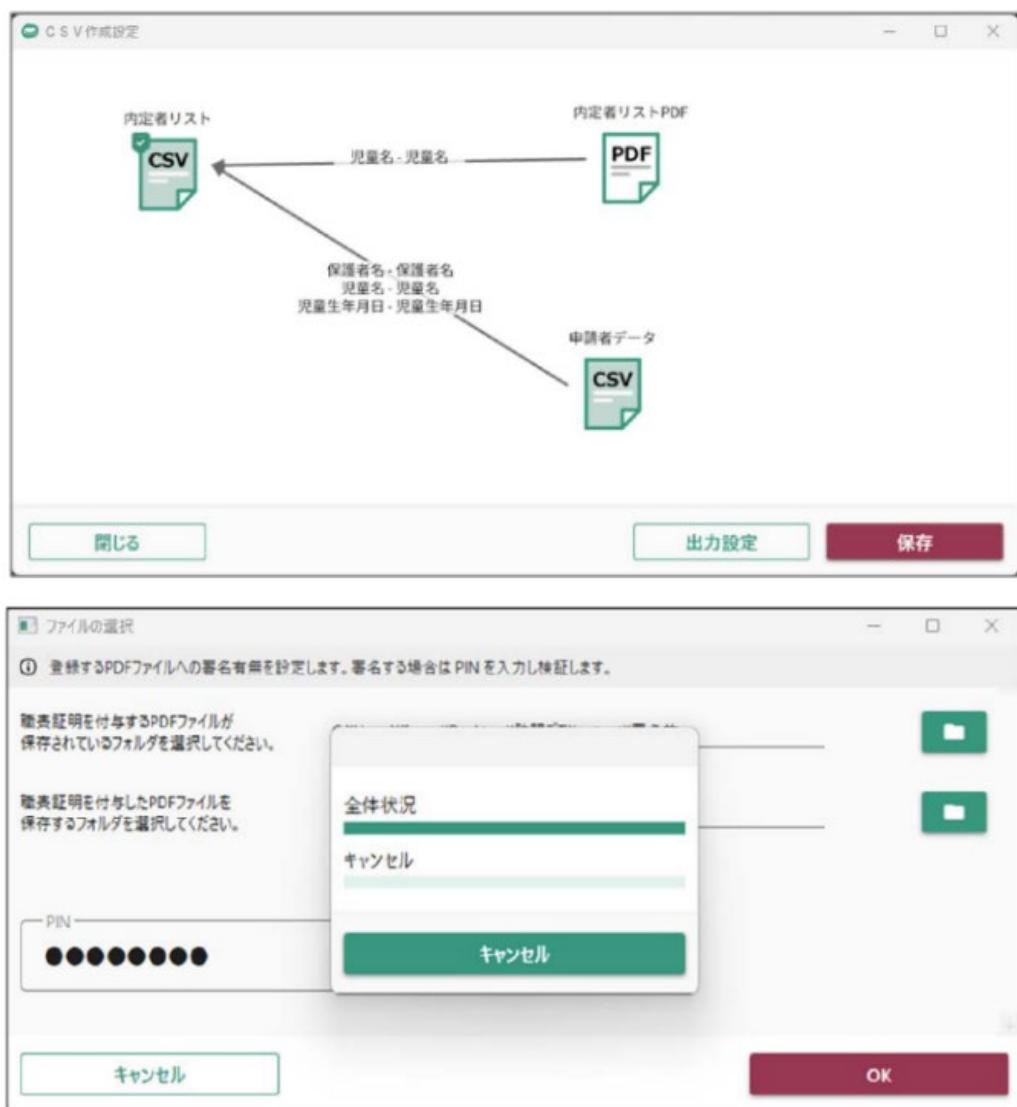
(通知書100件に電子署名を行う場合の作業時間比較)

現行	genoty での作業
100分	2分

・現行、電子署名の処理には概ね1件あたり1分の時間がかかるっているが、genoty を使用した一括署名にかかる時間は100件の処理に約2分程度であり、大幅な業務削減効果が実証された。

・また、一括署名を行うことで署名漏れを防ぐことができ、対象者ごとの PDF ファイル分割やファイル名の付与、交付方法の判定(電子／紙)などの処理をシステム上で一括処理することで、人的ミスの発生リスクが大きく低減した。

・今回の実証を通じて、結果通知のデジタル化が業務効率化、ペーパーレス化、市民の利便性向上に寄与する取り組みであることを確認できた。



■問い合わせ先

富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社

(TEL:03-6419-0550、メールアドレス:dgi-123-sp-genoty@fujifilm.com)

福岡市総務企画局 DX 戦略部サービスデザイン課

(TEL:092-711-4105:、メールアドレス:servicedesign.gapb@city.fukuoka.lg.jp)